ノ議員ハ士族多クシテ平民少シ鹿児島、飫肥、佐賀ノ舊領地ニ係ル町村ハ概ネ皆是ナリ故ニ一般人民ニ在テハ町村會ノ何タルヲモ辨知セサルノ景況アリ之ヲ概スルニ現今町村會ハ寧ロ行政上ノ便宜多クシテ人民自治ノ効能至テ少キヲ知ルヘシ

○一町村會創設以来犯則ニ渉リ中止又ハ解散セシコトアルヲ聞カス

○一聯合町村會ハ各地至ル所之レアラサルナシ凡ソ戸長役場ノ所管ハ數町村ニ跨ルモノナレハ戸長役場費用ハ此數町村聯合會ヲ開クヲ以テ通例トス其他學區聯合會尤多ク又ハ一郡聯合會ヲ開キ一郡内ノ共同事業ヲ評議スル地方間〻之レアリ其事情ハ前既ニ陳述セシヲ以テ今又此ニ贅セス學區會ハ概ネ戸長區域トハ自ラ異ナルモノナレハ法律ニ依リ郡長其會長タルヘキノ責任アリ而シテ各郡學區會甚タ多ク或ハ數十會モアル所アリ郡長毎事此ニ臨マントスレハ毎日東西ニ奔走シ是レ日モ足ラサラントス然レトモ法律上書記ヲシテ代理セシムル

能ハス郡長ニ於テ不得已差支アルトキハ即チ會員ノ内一名ヲ指定シテ會長タラシムルノ一法アルノミ然ルニ僻遠ノ地ニ在テハ會員中會長タルヘキノ人物ニ乏シク往々不都合ヲ生スル事アリ不得已郡長數里ヲ奔走シ勉強シテ成ルヘク自ラ學區會ニ臨メリ是ヲ以テ益々郡長ノ繁劇ヲ加ヘ隨テ尋常事務上ニ支障ヲ生スルコトモ亦サカラス故ニ此法ヲ改正シテ此場合ニ於テハ郡書記又ハ所在戸長ヲシテ代理セシムルノ活路ヲ與ヘハ郡吏及ヒ聯合會議等ノ為

ソ大ニ便宜ヲ生シ他ニ弊害アルヲ見ス

○一租税徴収事務ハ戸長役場事務ノ大部分ニ屈ルハ勿論タリトイヘトモ租税徴収ハ舊來戸長役場ノ本務タルヲ以テ實驗練熟ノ効アリ其繁劇ノ割ニハ困雜セサルヘシ今若シ之ヲ引離ストキハ戸長役場ノ事務減少スヘシトイヘトモ未タ以テ閑静ニ帰スヘシトハ云ヒ難カラン近來各省ヨリノ命令ニヨリ調査スヘキ統計類ノ數、數十百枚ニ至リ今日ニテハ此事務殆ト租税事務外ノ半ヲ占メ且未タ以テ確實ナルモノ

ヲ差出スコト能ハスト云故ニ徴税事務ヲ戸長ヨリ引離ストモ戸長役場ニ於テハ大ナル費用節減ノ法立タス而シテ他ニ其事務ヲ担當スルモノヲ創設スルトキハ其費用ハ從来戸長ニ於テ取扱ヒシ費用ノ幾倍ヲ要スルモ計リカタシ故ニ戸長役場ノ繁劇ヲ省キ事務ノ整頓ヲ期セント欲セハ徴税事務ハ舊來ノ儘ニ倨置キ其他ノ事務ヲ減省スルヲ以テ尤モ得策ト為スヘシ

以上開申スル所ハ則チ豫メ調査ノ用意ヲ為シタル條件ニシテ事ニ隨ヒ類ニ由リ間々窃カニ鄙意ヲ陳述附記セシモノニ有之其巡回ノ際殊ニ注意ヲ促シ感慨ヲ喚起セシ事件サカラス今其大ナル事件ヲ左ニ開陳シテ高明ノ採擇ニ供セント欲ス

一 道路交通不便之事

二 囚徒増加之事

三 對馬島之事

○第一 道路之事

今般九州各縣巡回ノ際尤感觸慨歎ヲ起シタルモ

ノハ道路ノ險惡ナルニ在リ就中鹿児島、長崎宮
崎ノ三縣下尤モ甚シク鹿児島縣下ハ國道ノ中
唯鹿児島ヨリ市来ニ至ル道程凡ソ九里ノ間總
ニ腕車ヲ通スルノミ其中モ眞ニ車道トモ云フ
ヘキハ總ニ市来、伊集院ノ間三里餘ノミ其他ハ
皆山路峻阪徒歩若クハ馬背ノ外通スヘカラス
往々險惡ニシテ或ハ木根岩石道ニ横リ又ハ懸岸傾斜
シ又ハ崩潰凹凸行路甚タ艱ム或ハ馬ヲ棄テ、徒歩
セサレハ危キ所アリ況ンヤ貨物運搬者ニ於テ
ヲヤ尋常ノ旅人トイヘトモ一日行程總ニ七八里ニ過キス

長崎縣下ハ長崎ヨリ諫早、大村ノ間道程凡ソ十三里島
原、神代ノ間凡ソ四里合セテ十六七里ノミ總ニ車ヲ
通スヘシ然レトモ長崎、諫早ノ間ハ峻阪多クシ
テ輓夫一人ニテ通過スヘカラス其餘ハ概ネ鹿
児島縣下ノ道路ニ類シテ猶劣ル所アリ宮崎縣ハ
宮崎ヨリ國道凡ソ十四里餘ニシテ美々津驛ニ至
ル道路平坦車行略〻易シ美々津ヨリ又山路險惡殊ニ
甚シク車通セス之ヲ椨時峠ト云フ凡ソ三里ニシテ富
高新町ニ至ル富高新町ヨリ延岡ニ至ル國道凡ソ
六里又車ヲ通スヘシ然レトモ所々石磊凸凹車

行鼯鼠又宮崎ヨリ都ノ城ニ至ル國道稍々平坦ノ所アリ車ヲ通スヘシ然レトモ所々峻阪多クシテ未タ以テ車道ト為スニ足ラス其他國道ニハ延岡ヨリ豊後佐伯、臼杵ニ達スルノ道凡二十五六里及縣道ニハ飫肥ノ道凡ソ十五里皆尤險惡ニシテ牛馬モ猶通セサル所アリ其飫肥ニ至ルノ道二ツアリ山路ヲ取レハ險惡一層甚シク或ハ巾二三尺ノ溪間ヲ蹈ミ泥濘馬足ヲ没シ動モスレハ其泥馬腹ニ及ヒ殆ント仆レントスルモノ幾回又ハ溪流ヲ渉ルニ先ツ嚮道者ヲシテ淺瀬ヲ探ラシメ其後ニ就キ騎シテ渉ルニ水往往馬腹ヲ涵シ鞍鐙ヲ濡シ河中覆溺セントシテ之カ為メ寒膽スルコト幾回又時トシテ峻阪ヲ上リ馬ヲ棄テ蔦蔓木根ヲ攀リテ山上牛脊ヲ歩スルカコトキコトアリ又ハ川流橋落水漲ルニ逢ヒ舟ヲ數丁ノ外ニ需メ纔ニ能ク渡ル處アリ是等ノ所ハ秋潦一度ヒ至レハ往来忽チ絶ヘ彼此消息ノ通セサルコト數日ニ及ヘリト云而シテ山間凡ソ七里ノ間一茶店アルナシ旅人渇スルモ茶水ヲ得ルニ由シナシ三良宮崎ヨリ飫肥

ニ至ル初メ山路ヲ取リ歸路沿海ニ依ル沿海ノ路ハ山路ノ如ク危惡ナラストイヘトモ峻嶮ハ更ニ甚シキモノアリ其日向ヨリ豊後ニ出ルノ道凡十七八里其險惡飲肥ノ道ニ譲ラスト云故ニ旅客多ク海路ニ依ル大分ヨリ小倉ニ至ル車ノ通セサル山路アリ小倉ヨリ福岡ヲ經テ佐賀ニ至ルノ國道ハ概ネ沿海ニシテ皆脆車ヲ通スヘシ然レトモ其内部ニ入レハ往々峻嶮四五車馬ノ通スル所甚稀ナリ故ニ日向豊後ノ深山ニ松杉樫槻等ノ良材動モスレハ數圍ニ過クルモノ幾万本ナルヲ知ラス遇々風災等ニテ仆レ水アリ之ヲ公賣スルニ平地ニ在リテハ幾拾圓ノ代價ヲ有スルモノ六七里ノ山間ニ入レハ僅カニ五拾錢ヲ以テ入札ノ高度ト為スモノアリ是レ其道路峻險ニシテ僅カ六七里トイヘトモ之ヲ運搬スルニ先ツ之ヲ小枝等ニ切斷シテ牛背若クハ人背ヲ以テ僅ク市場ニ出スコトヲ得其勞カノ容易ナラサル終ニ數拾百圓ノ貨物モ殆ト無價ニ濱スルモノアリ以テ一班ヲ見ルヘシ三良飫肥ノ縣道ヲ通過スルニ除シ未タ人類ノ棲息セサル太古ノ山川ヲ跋涉ス

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

ルノ感アリ抑我邦開闢ヨリ二千五百餘年而
カモ九州ハ王化ノ始マル所ニシテ此ノ如ク道
路ノ不便アリ物産ノ繁殖セサル職トシテ是ニ
由ラサルハナシ豈之カ為メニ慨嘆セサルヲ得
ンヤ顧ミテ歐州諸國百年以前ノ歴史ヲ追思ス
ルニ當時其道路運輸ノ便既ニ大ニ開ケ我邦現
今ノ如キ不便ノモノニアラス則英王ジヨージ
一世ノ時千七百十四年ヨリ千七百二十七年ニ至ル龍動巴里ノ間定期
往来ノ馬車アリ大凡ソ一晝二夜ニシテ至ルヘシ
然レトモ其他ノ事件ニ至テハ我國現今ノ度ニ

及ハサルモノ多シ則英國々庫ノ歳入ジヨージ
三世ノ時千七百七八十年ノ頃總ニ千百万ポンド我凡六千万圓弱ニ過キス又普通教育ノ如キハ六七十年前
迄ハ歐洲各國ノ未タ夢想セサル所ナリ即英國
ニ在テ普通教育ノ全國ニ行ハレシハ總ニ三四
十年ノ事ニシテ現ニ英國中等以上ノ家トイヘ
トモ老父老姥ニ至テハ往々字ヲ知ラサルモノ
アリ其書記ヲ要スルトキハ子孫ヲシテ之ヲ代
書セシムルヲ見ルハ珍シカラサル事ナリ又佛
國ニ在テハ教育ノ未タ下等人民ニ普及セサル

コト實ニ驚クニ堪ヘタリ試ミニ已里市街下等
人民車夫馬丁等ニ向ヒ町番地ノ書付ヲ示シ其
教導ヲ乞フモ之ヲ解スル者甚稀ナリ然レトモ
其今日ノ富強タルヲ妨ケス斯ノ如ク歐洲諸國
百年以来今日ノ富強ニ至ルノ経歴事實ヲ通觀ス
ルニ我邦事業ノ及ハサルハ教育法律等ニアラ
スシテ道路運輸ノ不便ナルニ在リ其權衡ノ釣
合ハサル實ニ人ヲシテ驚歎セシムルニ堪ヘタ
リ
今若シ我邦モ亦彼ノ富強ニ倣ハントト欲セハ宜

帝度取調局

ク法ヲ彼レニ取ラサルヘカラス蓋シ歐洲今日
ノ富強ハ普通教育衛生會等ノ結果ニアラスシ
テ物産ノ繁殖ニ在リ物産繁殖ハ則道路交通ノ
便ニ在リ然シハ則教育衛生等ハ却テ富庶ノ結
果ナルコトヲ知ルヘシ顧ルニ我邦近来ノ情況
ニ於テ或ハ緩急其宜キヲ得サル所アルカゴ
トシ則其富強ノ原因タルヘキ道路交通ノ便ハ
歐洲百年前野蛮タリシ時代ノ道路ニモ及ハス
而シテ教育衛生等ニ至テハ歐洲ノ今日ヨリモ
猶超過セントスルノ事實アリ之ヲ約言スレハ

制度取調局

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

未タ富庶ニ至ラスシテ徒ラニ先ツ其結果タル
教育衛生等ノ事ヲ皇張セントスルカ如シ教育
衛生固ヨリ好ムヘキ美事ナレ共貧國ニ在テハ
吏カ為メニ資カヲ消耗シ為メニ益々貧弱ニ陥
リ肝要ナル道路ヲ開鑿スルノ餘地ナカラン仮
令ヘ教育普及シ國民ノ思想高尚ニ趣クモ國力
委靡スルトキハ此獨立ヲ如何セン之ヲ一身ニ
喩フレハ富庶ハ猶飲食ノコトク教育ハ猶衣服
ノコトシ美服固ヨリ好ム所トイヘトモ家ニ儋
石ノ儲ナケレハ仮令ヘ身ニ綾羅錦繍ヲ纏フト

イヘトモ一身家属屢々飢ヘテ人ノ笑ヒト為ラ
サルモノ殆ト稀ナリ其弊ヤ終ニ錦衣ヲ着テ餓
死スルニ至ラン蓋シ我邦道路ノ殊ニ不便ナルハ
中古以来封建ノ勢小諸侯ノ各地ニ割據セシ餘
弊ナリ然レトモ封建ノ制既ニ廢シタル今日ニ
在テ猶其不權衡ヲ悟ラスシテ益々其不權衡ノ
度ヲシテ甚シカラシムルカ如キノ傾向アルハ
又今人ノ罪ナリ是ヲ以テ今我邦ノ為メニ熟計
スレハ富庶ノ贅澤ニ属スヘキ事業ヲ後ニシ全
國官民ノカヲ合シ道路ヲ開鑿シ鉄道ヲ架設シ

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

港灣ヲ築キ溝渠ヲ通シ大ニ海陸運輸ノ便ヲ盛ニシ陸ニ鉄道若クハ馬車ノ通セサル所ナク海ニ滊船郵艦ノ通セサル所ナカラシヲハ我邦固有ノ物産自然ニ發達シテ富庶ヲ為スヘシ然ル後教育衛生其他文明ヲ修飾スルノ具隨テ至ルヘシ故ニ我邦現今ノ急務ハ全國運輸交通ノ便ヲ開クニ在リ

○第二囚徒増加之事

各縣至ル所囚徒ノ増加セサル所ナシ故ニ監獄費年々増加シ獄舎益々狹隘ヲ告ケ益々新築擴充ヲ要スルノ景況アリ其數各縣異同アリトイヘトモ大凡ソ両三年ニ二倍ト為リ甚シキハ一年ニ倍スル所アリ例ヘハ四五年前ハ三百人ノ囚徒ナリシヲ以テ其監舎新築ノ際五百人ヲ容ルヘキモノヲ建築シ年々多少ノ増減アルモ先ツ充分ナリトノ豫算ヲ立テシモノモ今日ニ至テハ七八百人乃至千人ニ至リ監舎填咽云フヘカラス又囚徒ノ就クヘキ役ナク或ハ三飯ヲ飲シ終日舎内ニ徒手座臥スルモノアリ到底此景況ニ放任シ數年ヲ経過セハ至ル所囚徒充満シ

良民辛苦ノ粒々皆悪漢囚奴ノ饞食スル所ト為
リ其弊ヤ一國ノ生産力次第ニ減少シ上下益々
困弊ニ陥ラントス故ニ囚徒減少ノ方法ヲ講求
スルハ尤今日ノ一大急務ナリ其方法ヲ講求スル
ニ方テハ先ツ其弊ノ由テ生スル所ヲ推究シ其
弊源ヲ治療セサルヘカラス案スルニ今日囚徒
ノ増加スル原由三アリ曰ク犯人處刑ノ軽重宜
シキヲ得サル一ナリ曰ク獄舎待遇ノ過優ナル二ナリ
曰ク地方警察吏及収税吏ノ訐告苛細ナル三ナリ
何ヲカ處刑ノ軽重宜シキヲ得サルト云曰ク故殺

持兇器強盗ヲ死ニ入レス竊盗詐偽取財ヲ重禁
錮ニ止ソ及二十年以下ノモノヲ軽減スル等是レ
軽キニ過キタルモノナリ又老姥ノ僅カニ薪二三本
ヲ官林中ニ摭フモノヲ官林盗伐ノ刑ニ處シ野
菜菓實ノ類ヲ取ルモノヲ尋常窃盗ニ入ル、等
是レ重キニ失スルニアラサルヲ得ンヤ今若シ
刑法ノ全体ヲ改正スルコト能ハスンハ持兇器
強盗再犯以上ヲ死ニ入レ竊盗詐偽取財再犯以
上其情状ニ依リ徒刑ニ處シ竊盗ノ尤軽ク且犯
者壮年ノ男子ナル時ハ英國ノ笞刑ニ倣ヒ英國笞刑

トハ凡ソ壯年無頼ノモノニシテ窃盗ノ情軽キモノハ法官認定ニ依リ懲役繋囚ノ刑ニ換フルニ笞刑ヲ以テスルヲ得ル其法囚人ノ脊ヲ笞ツコト凡ソ五十以内ニシテ之ヲ放免ス其笞状猫尾ニ似タリ因テ又猫尾トモ云

法官ニ於テ重禁錮ノ刑以テ懲戒スルニ足ラスト認ムル時ハ幾十マテノ笞ニ換ヘルコトヲ得セシメ老姥薪ヲ擄ヒ野郎ノ菓實ヲ窃取スルモノヽ如キハ成ルヘク警察官ニ於テ説諭ヲ加ヘ将来ヲ戒メ又ハ相私和セシムル道ヲ開ク等ノ改正ニテ幾分カ囚徒ヲ減少スルノ効アルヘシ何ヲカ獄舎待遇ノ過優ナルト云フ曰ク凡ソ僻地寒村下等人民ノ生計ハ至テ

低キモノニシテ鹿児島長崎両縣下ノ人民過半ハ甘藷、粟、蕎麦等ヲ以テ常食ト為シ米麦ハ中等人民ノ食物ナリトス又其住家ハ大抵茅舎ニシテ床ハ竹簀ニ莚席ヲ敷キ沐浴ハ數日ニ一回衣服ハ襤褸ニシテ其勞動ハ大抵午前六七時ヨリ晩亦六七時ニ至ルマテ未耜ヲ取リ家ニ帰リ猶夜業ヲ為スモノアリ彼ノ囚徒ハ毎日三度米麦ノ良食ニ飽キ清潔ノ家ニ起臥シ清潔ノ衣服ヲ着シ勞動ハ概子午前八時ヨリ午后四五時ニ至リ其餘ハ檻中ニ在テ囚徒相寄テ雑談ニ時ヲ消

シ其甚シキハ徒手座食スルモノアリ故ニ僻陬ノ貧民一度ヒ獄ニ入レハ懲戒ノ意ナキノミナラス却テ在檻ノ永カランコトヲ欲シ甚シキ者ハ放免ニ際シ官吏ニ向ヒ猶留檻ヲ希望スルモノアリ又放免ノ後屢々再犯スルハ即獄舍ノ待遇過優ナルニ依ルモノナリ且凡ソ人良心アラサルモノナシ故ニ初犯ノ時繫囚セラル、モノハ概ネ悔悟ノ心アルモノナリ此者若シ再犯以上ノ悪漢ト日夜相親炙スルトキハ初メノ良心悔悟ノ情自然ニ薄ラキ終ニ改良スヘカラサル

ノ悪徒ニ陥ルモノ往々之アリ現ニ囚徒中再犯以上ニ係ルモノ殆ト半數ヲ占ル所アリ是レ其證ナリ故ニ囚徒待遇ノ規則ハ各地ノ適宜ニ任シ所在地方下等人民生計ノ度ニ適セシメ又初犯ノ囚徒ハ再犯ト區別シテ相交接セシメス務メテ囚徒懲戒悔悟ノ意ヲ起サシムヘシ囚徒懲戒悔悟スレハ再犯スルモノ甚タ少カラン是レ囚徒減少ノ一効ナリ何ヲカ警察官吏及収税吏ノ訐告苛細ナルト云曰ク僻地ニ在テハ警察官吏其閑ナルニ際シ可成職務ヲ擧行セント欲スルノ衷情ヨリ往々老

姥ノ薪木ヲ摭ヒ野郎ノ野菜菓物ヲ取ルモノ
ヲ告發シ又ハ村民ノ歐打創傷ノ輕キモノニシ
テ昔シハ中裁人ニ托シ白酒一升ヲ以テ事濟ミシ
モノモ警察吏ニ於テ故ラニ之ヲ告發スル等ノ
事情アリ又収税吏ハ專ラ自己ノ責任ヲ盡サン
ト欲スルノ衷情ヨリ人民無智ニシテ脱税ノ意
ナク唯總ニ規則ニ合セサルモノヲ發覺スレハ
輙チ之ヲ告發スルノ事情アリ之ヲ告發シテ公
訴スルニ至テハ法官ニ於テ其情ノ實ニ憫諒ス
ヘキモノトイヘトモ法律ニ正條アル以上ハ之

ヲ如何トモスルコトナク心中甚タ安ンセサル
所アリトイヘトモ已ムヲ得ス相當ノ處刑ヲ宣
告スル等ノ事頻々是レアリト云而シテ罰金ノ
附加刑ハ之ヲ完納スルモノ至テ稀ニシテ皆換
刑ニ就クモノノミナリ是等ノ囚徒モ亦強竊盜
ノ悪漢ト共ニ獄舍ニ嗔充シ追日増加ノ原由ト
為レリ故ニ向キニ言フ所ノ數ノ者ノ如キハ警
吏ニ於テ可成説諭ヲ加ヘ其被害者アルモノハ
私和セシメ将來ヲ警メテ之ヲ放チ務メテ公訴
ニ至ル迄ノ保護訓戒ヲ盡シ其情重ク素行獰悪

ニシテ到底公衆ノ妨害ヲ為スヘキモノト認ムルモノニ至テ初テ公訴セシメ又収税吏ニ於テモ其脱税ノ意ナクシテ遇々規則ニ合セサルモノヲ發覺スルモ可成説諭ヲ加ヘ脱税アルモノハ之ヲ追徴シ堅ク将来ヲ警メ其故意ノ脱税者及将来再ヒ脱税ヲ謀ルヘキ悪漢ト認メサレハ容易ニ之ヲ告訴セサラシメハ自然囚徒減少ノ一端トモ成ルヘク且ツ斯ノ如ク寛厚ノ處置ヲ為スモ警察及収税ノ目的達セスト云フコトアルヘカラス但シ之ヲ實施スルハ容易ノ事ニ

アラス事情百端寛厳其宜シキヲ得サルヘカラス故ニ一定ノ規則法律ヲ以テ節制スヘカラス唯各地方長官ニ於テ能ク其意ヲ體シ當該官吏ヲ精撰シ能ク其意ヲ奉承セシムルニ在リ

○第三 對馬島之事

對馬島ハ我西北絶海ノ一孤島ニシテ其地位ハ朝鮮ニ接近シテ却テ我邦ニ遠キハ既ニ人ノ知ル所ナリ是ヲ以テ古來外寇ノ襲来ニ際シ先ツ第一ニ其毒禍ニ罹ルモノ則對馬ナリ弘安蒙古ノ役ハ遠シ近クハ文久年間魯國軍艦對馬ノ淺

海ニ入リ芊崎ニ於テ家屋ヲ建築シ此ニ繫留ス
ルコト殆ト三年對馬人ヲ暴殺シ村落ヲ劫掠シ其亂
暴勝テ云フヘカラス然レトモ之ヲ如何トモス
ルコト能ハス時ニ英人來リ和解シテ終ニ去ラ
シムト云按スルニ當時魯國クリミヤノ爭亂始
メテ平ラキ英人ニ於テ魯人ノ我對馬ニ依據ス
ルノ不利ナルヨリ之ヲ去ラシメタルナラン當
時若シ魯人ニシテ英人ト和セサラシメハ如何
ナル禍害ヲ釀セシヤモ亦未タ知ルヘカラス三
良小舟ニ駕シ淺海ヲ回航シ彼ノ芊崎魯人ハ嘗テ

住居セシ所ヲ見ルニ淺海ナルモノハ則對島兩
島對馬ハ二島ノ間自然ノ湖水ノコトク東西凡
ソ八九里湖中處々屈曲無數ノ島嶼各處ニ散布
シ兩岸蔥翠樹木蓊々或ハ遠ク或ハ近ク風景佳
絶神戸以西備藝間ノ內海ヲ舶行スルニ髣髴タ
リ然レトモ沿海蕭條人烟稀疎殆ト無人ノ境ヲ
行クカ如シ宜ナリ魯人ノ詔メテ以テ無人ノ地
ナリトシテ占擄權ヲ主張セント試ミタルヤ芊
崎ハ其淺海內ノ一小灣內ニ在リ後ニ小丘ヲ負
ヒ前面灣中海底殊ニ深ク巨艦大船ヲ容ルヘシ

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

灣外猶内海ナルヲ以テ如何ナル風波ノ際トイヘトモ繫船平穏ナリ蓋シ魯人ノ此地ヲ相シ屈強ノ停舩所ト認メ家屋ヲ建築セシナラン今夫レ東西萬國ノ交際日ニ頻繁ニ趣リノ勢アリ將来再ヒ魯人ノ此ニ垂涎セサルヲ保スヘカラス豈ニ戒心セサルヘケンヤ

對馬ノ地盤タル岩石多ク地味甚タ薄瘠米穀ヲ産スル甚サク麦雜穀ヲ産ストイヘトモ未タ以テ對馬全島ノ人民ヲ養フニ足ラス且人民遊惰ニシテ稼穡ヲ勉メス隨テ土地墾ケス山岳原野ニ委スル所多シ其人口ハ僅カニ三萬國税一年壱万四千餘圓且國庫ノ支辨ニ属スル談島ノ入費ハ殆ト四万四千餘圓（鎮兵費ヲ除ク）ナリト云今之ヲ琉球島ニ比スルニ其優劣實ニ霄壤ナリ蓋シ琉球ハ離島ヲ除ケハ其面積對馬ト大差アルナシ而シテ其人口ハ即三十五万租入ハ七拾萬圓（十四年ノ調ニ依ル近時物價下落ニ付幾分カ減少セシナラン）琉球人民ノ負担スル租税ハ一人平均貳圓ト為リ對馬島人民ハ一人五拾錢ニ満タス其貧富ノ懸隔スル斯ノ如ク又人口物産繁殖ノ差異斯ノ如シ顧ミテ其地味如何ヲ見

ルニ琉球國トイヘトモ土地磽确礪石多ク地盤甚薄瘠對馬島ニ比シテ格別優ル處ナキカ如シ然レハ則人事ヲ以テ然ルヲ致ス所ナラン深ク察セスンハアルヘカラサルナリ

蓋シ舊藩時代對馬ノ領主ハ其土地瘠薄食物不足スト云フヲ以テ幕府ヨリ年々補助金トシテ金壱万五千両ヲ給シ別ニ築前膏腴ノ地二郡ヲ領シ且朝鮮貿易ヲ專ラニセシヲ以テ其利甚タ多ク斯ノ如ク他方ノ扶助ニ據リ國計ヲ立テシ慣習ト為リ自國ノ物産ヲ繁殖スルノ道ヲ講求セサルヨリ其土地ノ産物數百年依然トシテ進マス且藩政ノ時嘗テ對馬島ノ人口三万ニ過クルヲ得スト制度ヲ設ケ各戸男女三人以上児ヲ養育スルヲ禁シタルコトアリ故ニ廢藩ノ時迄ハ人口三万ニ滿サリシト云斯ノ如ク舊時ハ其政事ニ依リ人口物産都テ其増進ヲ抑制シ其弊ヤ慣習性ト為リ今ニ至リ隨胎墮殺日トシテアラサルナク貧者ノミ然ルニアラス身代相應ノ者トイヘトモ生児男女三人以上ニ至レハ多クハ之ヲ殺ス立言之ヲ

明治文庫

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

戻(モド)スト云恬トシテ恥ル コトナシ蓋シ之ヲ造物
者ニ返戻スルノ意ナラン又其物産ニ至テハ沿
海皆漁利アラサルナシ就中鰯(イワシ)ハ頗ル名産ニシテ京摂間年々之ヲ消費スル
コト其幾万ナルヲ知ラス然レトモ對馬人ノ此
漁ニ従事スルモノ一人モナク廣島山口諸縣ノ
漁人来テ之ヲ漁獲スト云又陸ニハ山畝多シトイヘトモ豈開墾スヘキノ地ナカランヤ且山ニ
桑楡ノ天然生アリ以テ養蠶ノ業ヲ起スヘシ近
来長崎縣支廳ヲ置レシ以来授産ノ事ヲ謀リ養
蠶漁漁ノ業ヲ創設セリトイヘトモ日淺クシテ
未タ以テ其成否ヲトスルニ足ラス三良以為ラ
數百年ノ風俗一朝之ヲ奮起改良セント欲スル
モ尋常方法ノ能ク之ヲ成スヘキニアラス必ス
ヤ非常ノ處置ヲ以テ之ヲ鼓舞作興シ速ニ此陋
習ヲ脱シ人口物産共ニ繁殖スルノ速ニ進マシ
メスンハアルヘカラサルナリ抑對馬島ハ其得
失相償ハサルヲ以テ之ヲ委棄スルモ妨ケナシ
ト為ハ則已マン若シ委棄スル能ハスト為ハ速
ニ之ヲ改良シテ我版圖内タルノ實ニ恥チサラ

シソサルヘカラサルナリ

以上陳述スル所ハ今般巡視セシ九州地方ノ大概ヲ擧
節鄙見ヲ付記シ以テ高明ノ採擇ニ供スルノミ其他
物産工業ノ盈縮物價工錢ノ增減等ニ至テハ各縣調
査書類多シトイヘ𪜈唯其繁雜ニシテ冗長ナラン
コトヲ恐ル故ニ是等ノ事項ハ此ニ省キ各縣別調書
ニ讓ル又租税怠納者欠損金額及地方税町村費
改良ノ意見ノ如キハ調査未了ノ所アルヲ以テ後日ヲ
族テ進呈セント欲ス

明治十八年十月　參事院議官尾崎三良謹白

制度取調局

制度取調局

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

窮民食料

草木繪圖

百十五

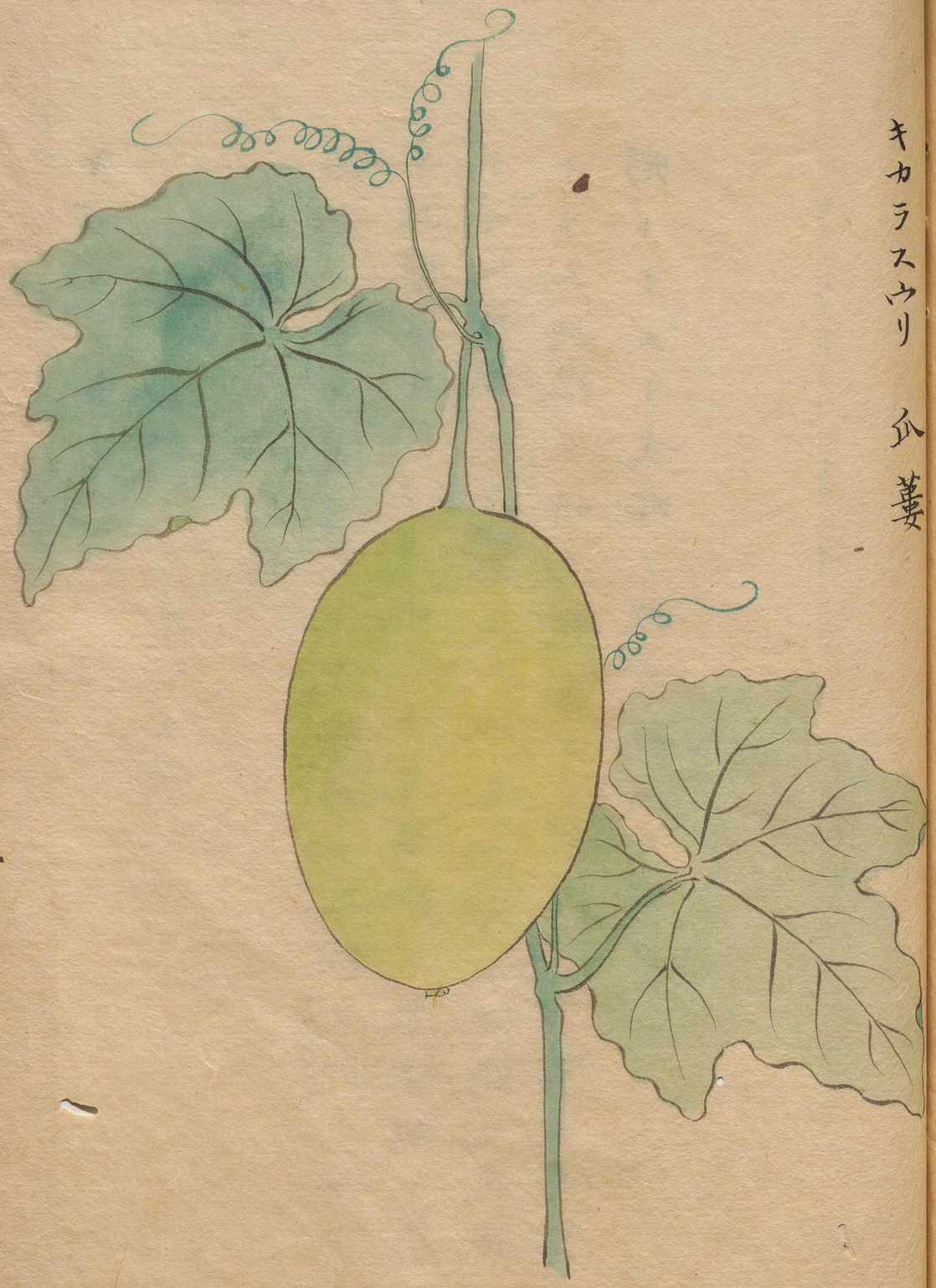
国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

ヒガンバナ　石蒜

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

ヒガンバナ、
マンジユサケ、西京、シタマガリ、ハミズ、
ハナミズ、
石蒜、

諸國原野最多キ毬根ノ草ニシテ、根葉共ニ水仙ニ稍似タリ、花鮮紅ニシテ美ナリ、此草元來毒草ナレ共、荒歳ニハ貧民此根ヲ舂ク水飛シ、葛粉ノ如ク製シ、餅トナシ食フ、



キカラスウリ　瓜蒌

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

キガラスウリ、
コベ、九州、　コビ、土州、
瓜蔞、　又括樓、
諸國ニ多キ蔓草ニシテ、葉形ハ大約王瓜（カラスウリ）ニ似タリ、此實ハ王瓜ヨリ大ニシテ黄熟ス、亦塩藏シ食フヘシ、此根ヨリ製スル澱粉ハ、即チ所謂天花粉ナリ、又此根ヲ研リ餅トナシ食シ、或ハ穰ヲ以テ粥トナスヿ、支那ノ救荒説ニモ出ツ

ケシアザミ　苦菜

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

王瓜（カラスウリ）

ケシアザミ、大和本草、

一名、ノゲシ、都波比良久佐、本草和名、

ケシナグサ、和漢三才圖會、千、グサ、東京、

苦菜、

和漢貧民食料トナスモノナリ、貝原翁云、月令、首夏ニ苦菜秀ツト云是ナリ、春初ヨリ食スヘシ、今人之ヲ食フヿヨシラズ、煮テ苦汁ヲ去テ可食

ツハブキ　　豪吉

カラスウリ、
　比佐久、輔仁本草、ゴウリ、筑前、
　カリネ、紀州、肥前、ウルネ、和州、
　玉瓜、熊野、

諸國竹林籬邊ニ多キ蔓草ナリ、白花ヲ着ク、瓣端細裂シ毛ノ如シ、此實ノ形ハ小卵ニ似テ紅熟ス、賤民此根ヲ掘リ食フ」

イヌビハ　天仙果

ツハ、

ツハブキ、イシフキ、國藥須知、

蜀葵、

諸國海邊ニ多ク自生シ、又人家ニモ移シ植ウ、葉欵冬ニ似テ光澤アリ、殘民多ク此莖ヲ採リ、煮テ水ニ浸シ、苦味ヲ去リ、再ヒ煮ラ食用トナス、或ハ漬物トナシ、又煤乾シ貯ヘ食フ」

石蕊　ハナゴケ

イヌビハ、
一名、ナンキンイチゴ、
コイチゴ、千、ノミ、萬葉集、
天仙果、
和漢共ニ食用トナス、此他諸国方言甚タ多シ、
飯ニ交セ食フ」

クヅ

葛

ハナゴケ、
シラゴケ、
石蕊、

諸國山中地面石上共ニ叢生ス、高サ二三寸、枝又ヲ分チ、白色圓細中空ナリ、此苔ハ茶トナシ飲服スベシ、所謂蒙頂茶ナリ、又醋味噌ニ和シ食スルモ、味佳ナリ、加州白山ニテ、コホリゴケト呼ブモノモ、亦此一種、莖稍長クシテ桑カナル者ナリ、山民食用トナス、吸物トナシ、或ハ油ニ揚ルモ雅味アリト云、木曾御嶽田ノ原ニモ亦此苔産ス

ボタンバウフウ　防葵

クズ

マクズ古歌

葛

此葛ハ諸國隨處ニ多クアリテ衆人ノ能ク知ルノ品トス秋ノ七草ノ古歌ニモ咏セリ葛籠葛布ヲ造リ葛粉ヲ製ス又此根ヲ搗キ碎キ餅トナシ救荒第一ノ食トス嫩葉ヲモ山蔵貧民ノ食料ナリ」

ノダイワウ　羊蹄

ボタンバウフウ

一名・五嶋・バウフウ・サツマバウフウ

防葵

諸國海邊ニ多ク産ス江州三州遠州邊ニテハ畠ニモ作リ食用トナス漢醫藥用ノ防風ニハ非ズ

ノダイワウ

シ　古歌△シノ古名ヨリ出テ諸國方言モ亦頗ル多シ

ギシく　シノハ南部木曽　シノベ肄軽△シノネ和名鈔

シブクサ同阿州　シユナバア北海道等ナリ」

羊蹄

水邊下濕ノ地ニ自生多シ根ハ黄色ノモノナリ又同類異種ニシテ葉ニ酸味アルヲスイバト呼ブ漢名酸模ナリ共ニ山歳貧民ノ食用トナス羊蹄ハ支那ニテ此根ヲ食料トナス詩ノ小雅ニ言采ニ其蓫ト咏スルモノ是ナリ」

ツルボ　綿棗兒

スミレ、ニ種

按ニ、此一種ノ塊根ハ、ワルボ、一名スイベラ、筑前、イスニラ、スミラ、イビラ、豊前豊後、此他諸國ノ方言甚ダ多シ、

綿棗兒

此根ヲ水飛シ粉トナシ、餅ヲ製シ、山人之ヲ食フ此根ハ、能ク煮ザレバ食シ難シ、ヨク煮レバ、甘マ臭クナリ、味モ甘クナリテ、ヤヽ蕷(エゾミ)アリ、一晝夜モ煮テ、薪ヲ多ク費スユヘ、豊前速水郡、銕輪ノ温泉杯ニテハ、地獄ト云熱キ場ニ入レ置キ、薪ヲ費ヤサズト云、多ク食ヘハ、放屁ス、故ニヘヒリクサノ名アリトゾ、此花ノ穗ノ形ハ、公家衆參内ノ時用ヒラルヽ、ツマヲリ傘ニ稍似タルヨリ、サンダイガサノ名モアリ、筑紫ノ邊ニテハ煮熟シ、曝シ乾シ、凶歳ノ糧ニ貯フト云

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 148